

一般社団法人

Japanese Society for
Information and Systems in Education

教育システム情報学会 ニュース・レター No.251



一般社団法人
教育システム情報学会

発行日 2024年10月XX日

発行所

一般社団法人

教育システム情報学会

発行者 小松川 浩

〒162-0801

東京都新宿区山吹町358番地5

アカデミーセンター

URL <https://www.jsise.org>

E-MAIL secretariat@jsise.org



第49回 全国大会開催報告	2	リサーチ・コココモンズ	19
第49回 全国大会奨励賞審査結果	4	第20回 情報教育合同研究会開催案内	20
第49回 全国大会 学生特別セッション参加報告	5	研究会報告年間購読案内	22
第50回 全国大会のご案内 「ラーニングイノベーション 2024」審査結果	8	過年度刊行物の【半額】での販売	23
第2回 研究会開催報告	12	広報からのお知らせ	24
学生研究発表会発表募集	13	他団体 協賛・後援イベントのお知らせ	25
博士論文紹介募集	14	国際会議のご案内	26
特集号論文募集	15	会費納入のお願い	27
合同英文誌 ITEL 論文募集	17	事務局より	29
		会員専用ページの案内, 入会のご案内, 新入会員のご紹介	





第 49 回 全国大会 開催報告

担当者： 全国大会委員会 委員長 國宗永佳（千葉工業大学）

2024年8月27日(火)から29日(木)の3日間にわたり、教育システム情報学会第49回全国大会を明海大学浦安キャンパスにて開催しました。まずは素晴らしい会場を快くご提供くださった明海大学の皆さまに、心より感謝申し上げます。また、参加者の皆さま、シンポジウム等の登壇者の皆さま、広告・展示・後援・協賛をいただいた企業・団体の皆さまに、厚く御礼申し上げます。

2020年から、完全オンライン形式と対面・オンラインのハイブリッド形式を2回ずつ経て、実に5年ぶりの完全対面形式での開催となりました。大会には367名、懇親会には160名の方にご参加いただき、大会が研究成果の発表を通じた学術的な交流の場として、また皆さまのご縁をつなぐ・深める機会として機能したものと思います。

大会初日には学会創設50周年を記念したシンポジウムを開催しました。異なる立場の4名のパネリストによる、人間の学習と機械による学習を対比した観点からの話題提供が行われるとともに、コーディネータや聴衆も巻き込み、AIとの共生社会に向けて学習者・教育者が何をすべきかについての熱い議論が展開されました。

また、大会2日目には高等学校での必履修化から20年を経た情報教育について、日本情報科教育学会との連携企画を開催しました。こちらの企画でも様々な立場の4名の登壇者からの話題提供と、コーディネータや聴衆を巻き込んだ建設的な議論を通して、改めて情報教育の重要性を認識するとともに、今後の情報教育に向けた重要な示唆が得られました。

これらのシンポジウム・企画は大会参加者以外にも公開され、オンラインでも配信することができ、多くの方にご参加いただくことができました。本大会を通じて、学会内外の多くの方々とこれらの議論から得られる知見を共有できたことをうれしく思います。

大会2～3日目には、口頭（一般・企画）セッションとインタラクティブセッション、学生研究特別セッションが開催され、計159件の発表が行われました。発表申し込み時に選択していただく分野のうち、特に多く選択されたものは「先進的学習支援」、「スキル学習」、「プログラミング教育」、「学習者特性・行動分析」、「授業設計・インストラクショナルデザイン」でした。方法論的な観点とドメイン指向の観点が程よく混在しており、本学会の特徴をよく表しているように思います。また、記入いただいているキーワードでは、「適応的支援」、「生成AI」、「学習履歴分析」、「授業実践」「AI（人工知能）」などが多く見られました。技術的なものと実践に関するものがありこちらも本学会の特徴的なところかと思えます。また、シンポジウムのテーマとも関係しますが、生成AIをはじめとする人工知能技術の活用に注目が高まっていることも、現在の研究動向をよく表しているように感じます。

今回は台風10号が接近する中、来場できなかった方もいらっしゃるかと思います。大変残念ではありましたが、次回の大会でお目にかかれることを楽しみにしております。

次回の第 50 回大会を、2025 年 8 月 30 日(土)から 9 月 1 日(月)に早稲田大学早稲田キャンパスにて開催する予定です。第 50 回かつ学会創設 50 周年特別事業の締めくくりとなる記念すべき大会でもありますので、多くの方のご参加をお待ちしています。

末筆になりますが、今回の大会運営を担っていただいた佐々木文彦先生はじめ現地実行委員会の皆さま、学生アルバイトの皆さま、大会委員の皆さまの献身的なご尽力に心からの感謝の意を表して、この報告を終えたいと思います。



第 49 回全国大会奨励賞審査結果

担当者： 全国大会奨励賞選定委員長

全国大会奨励賞は、教育システム情報学および関連分野における学問の発展を奨励するため、その貢献が顕著である新進の研究者に贈呈するものです。全国大会最終日に本学会の会員であって、41 歳未満、または、本学会入会時から 10 年を経過していない方が対象となります。また発表論文の第一著者であり発表時において登壇者であること、直近の過去 2 回の大会でこの賞を受賞していないことも条件となります。

今年度は台風の影響に鑑み、論文審査のみでの審査といたしました。その結果、本大会の審査対象論文 69 件（口頭発表の部：50 件、インタラクティブ発表の部：19 件）から、以下の論文の各第一著者を全国大会奨励賞に選定いたしました。

なお、論文は、口頭発表・インタラクティブ発表ごとに、セッション番号順に並んでおり、各々は講演番号、発表題目、著者（○は受賞者）、【所属】から構成されます。

< 口頭発表の部 >

A1-2 XR を用いた小児の原始反射に関する教育コンテンツの開発と医療技術職の養成課程における教育実践

○矢部広樹(1)、高橋大生(1)、田中なつみ(1)、高山真希(1)、津森伸一(1)、鵜澤潔(2)、有菌信一(1)
【(1)聖隷クリストファー大学、(2)レノボ・ジャパン】

E1-3 講義ロボットのロールが学習者に与える影響

○佐田竣祐、柏原昭博【電気通信大学大学院】

D5-3 感性語に対する顧客傾向獲得のための接客トレーニングシステム

○角田悠翔(1)、小尻智子(2)、大塚裕貴(1)【(1)関西大学大学院、(2)関西大学】

<インタラクティブ発表の部>

SP-08 問題と模範解答を同時に生成する難易度調整機能付き読解問題自動生成手法

○後藤照佳、富川雄斗、宇都雅輝【電気通信大学大学院】

以上 4 件



学生研究発表会優秀発表者の全国大会参加報告

担当者： 人材育成委員会

本学会は若手研究者の育成に力を入れており、全国大会に「学生研究特別セッション」を設けています。これは、学生研究発表会の優秀発表賞受賞者と地区代表者に全国大会で発表していただく場として企画されたものです。全国大会で発表する優秀発表者および地区代表者は、「全国大会優待」として全国大会参加費と学生研究特別セッション分の論文掲載費が免除されます。

昨年度の学生研究発表会は全国8地区において開催され、優秀発表賞・優秀ポスター発表賞・地区代表者として計24名が選ばれました。2024年度全国大会ではそのうち18名が学生研究特別セッションで発表（学生研究発表会の論文が大会論文集に再掲）、1名は一般セッションでも発表しました。

以下に、学生研究特別セッション発表者の大会参加報告を掲載します。

この度は、全国大会での発表という貴重な機会をいただき、誠にありがとうございました。初めてのインタラクティブセッション形式の発表で緊張しましたが、幸いにも多くの先生や学生の皆様にお越しいただき、緊張を感じる間もなく発表を終えることができました。様々な分野を背景に持つ先生や学生の皆様から、今後の研究に役立つ視点や貴重なご意見を多くいただき、大変勉強になりました。また、同じ分野の研究をしている同年代の学生との交流ができたことも貴重な経験になりました。この経験を活かして、今後も一層努力して参りたいと思います。最後になりますが、全国大会の運営に関わったすべての皆様に、心より感謝申し上げます。

(電気通信大学大学院 修士1年 後藤 照佳)

この度は、全国大会での発表という貴重な機会をいただきありがとうございました。本学会では、「GPT-4を用いて物理の問題文から映像自動生成するシステム」について発表させていただきました。発表を通じて、多くの参加者から貴重なアドバイスや提案をいただきました。特に、プロンプトの記述方法についての意見は非常に参考になり、今後の開発に大いに役立てたいと考えています。最後に、このような貴重な機会を提供していただいた大会運営の皆様に関心より感謝申し上げます。

(佐賀大学大学院 修士1年 岸本 蒼唯)

この度は、全国大会学生特別セッションという貴重な場にお招きいただきありがとうございます。本大会では、ポスターセッションということで対面で1対1で発表することが多く、非常に緊張しましたが、発表内容に対するご意見やご指摘をいただくことができ、自身の研究をより深く考えることができる機会になりました。新たに得た知見をもとにこれからより一層、研究に励みたいと思います。最後に指導してくださった先生方、大会関係者の皆様に厚く御礼を申し上げます。

(京都教育大学 連合教職大学院 2年 城村 光紀)

この度、全国大会で発表の機会をいただきましたこと、心より感謝申し上げます。今回の大会では、インタラクティブ形式の発表でしたが、実際に多くの方々に私の研究内容を直接説明し、意見交換をすることができました。特に、その場でいただいたフィードバックは非常に貴重なものであり、自分の研究をより深く理解し、今後の発展に向けた大きな糧となりました。今回の発表は、私にとって成長と学びの連続であり、大変充実した時間を過ごすことができました。最後になりますが、貴重な機会を与えてくださった大会関係者の皆様、指導をしてくださった先生方、そして発表に関心を寄せてくださった皆様に、心より御礼申し上げます。

(静岡大学大学院総合科学研究科情報学専攻 修士1年 安田 陸)

この度は、夏の全国大会にご招待いただき、誠にありがとうございました。ポスター発表は初めての経験であり、その過程で新たな課題や着眼点を得ることができました。特に、多くの研究者の方々からいただいたご意見やフィードバックを通じて、視野を広げ、研究の方向性について改めて考える貴重な機会となりました。今後の研究活動においても、今回得た知見を十分に活かし、さらなる成果を目指して研究を進めてまいります。最後になりますが、大会運営にご尽力いただいた皆様方に深く感謝申し上げます。

(信州大学大学院 修士1年 脇谷 大志)

この度は、全国大会での発表という貴重な機会をいただきありがとうございました。インタラクティブセッションでのポスター発表では、多くの先生方や学生の方々にご質問やご意見をいただき、自身の研究内容のまとめ方や今後の研究の方向性について気づきを得る貴重な機会となりました。本大会での経験を今後の研究活動に活かし、さらなる発展に取り組んでいきたいと思っております。最後になりますが、本大会の関係者の皆様、研究を指導してくださった先生方に厚く感謝申し上げます。

(名古屋大学大学院 修士1年 岩田 蒼良)

このたびは、全国大会での発表機会を頂き、誠にありがとうございました。私はポスター発表とスライド発表の両方に参加させていただきましたが、いずれの発表においても多くの方々から貴重なご質問を頂戴し、研究を進める上で大変有益な示唆を得ることができました。とりわけポスター発表では、参加者の皆様と直接対話する機会に恵まれ、より深い議論を交わすことができました。この経験は、今後の研究活動にとって大変意義深いものとなりました。最後になりましたが、本大会の企画・運営にご尽力いただいた関係者の皆様に心より御礼申し上げます。

(広島大学大学院先進理工系科学研究所 1年 植田 昭夫)

この度は全国大会での発表という貴重な機会をいただき、誠にありがとうございました。ポスター形式での発表は初めての経験で緊張していましたが、多くの方々と密な議論を行うことができ、大変有意義な時間となりました。研究に関して自分にはない視点からの意見を数多くいただき、新たな気づきや考察を得ることができました。本大会での経験を糧に、今後もより一層研究に励んでいきたいと思っております。最後になりますが、本大会の関係者の皆様に心より感謝申し上げます。

(電気通信大学大学院 修士1年 有賀 弘晃)

この度は、全国大会への参加、並びに研究発表を行える貴重な機会をご提供頂き、誠にありがとうございました。インタラクティブ発表では、様々な学生や教員の方々から多様なご質問・ご意見を頂きました。研究上、重要と考えられるご指摘も頂き、大変有意義な時間を過ごせたと感じております。優秀賞という形で私の研究が高い評価を頂いた事に感謝すると共に、今回得られた知見も活かし、弊研究室において本研究を今後も大切に育てていきたいと思っております。最後に、指導を頂いた先生方、並びにこの度の機会を提供頂いた大会関係者の方々に心より感謝を申し上げます。

(公立千歳科学技術大学大学院 修士2年 佐藤 駿)

この度は全国大会での発表という貴重な体験をさせていただきありがとうございました。多くの方々に興味を持っていただき、意欲的に発表することができました。また、たくさんのご指摘やアドバイスをいただくことができ、私の研究にとって非常に有意義な時間となりました。本大会で、教育における情報技術のあり方について深く考えさせられ、新たな知見を多く得ることができました。この経験をもとに、今後さらに研究をブラッシュアップし、教育の現場に貢献できるような研究成果を目指して努力していきたいと思っております。最後になりますが、指導して下さった先生方、本大会の関係者の皆様に厚く御礼を申し上げます。

(大阪公立大学大学院情報学研究科学際情報学専攻 1年 中尾 琢)

この度は、JSiSE 全国大会でのポスター発表の貴重な機会をいただき、誠にありがとうございました。ポスターでの発表は初めての経験であり、説明しやすく、見やすい掲示とはどのようなものかを深く考えて作成しました。その結果、多くの方々に私の研究に興味を持っていただき、質問やコメントをいただいたことは、自身のスキル向上とモチベーションの向上に大いに繋がりました。今回の経験を糧に、より良い学習支援を目指して研究に励んでいきたいと考えております。最後になりますが、大会運営の皆様をはじめ、本研究にご協力いただいた皆様、そして本大会に関わった全ての皆様に、心より感謝申し上げます。

(信州大学大学院 修士1年 各務 正太郎)

この度は、全国大会で発表の貴重な機会をいただき、誠にありがとうございました。インタラクティブな発表を通じ、多くの参加者と意見交換をすることができ、研究の方針や実験方法などについて大変刺激を受けました。また、研究を進める上で役立つ重要なお指摘も多数いただき、有意義な時間となりました。この経験を基に、さらに研究に取り組み、社会に貢献できるよう精進してまいります。最後に、本大会の関係者の皆様に、深く感謝を申し上げます。

(大阪工業大学大学院 修士2年 シュレスタ アロク)

人材育成委員会では、学生研究発表会、全国大会学生研究特別セッションを継続していくとともに、今後も若手育成を活性化させる企画を検討していきます。



第 50 回 全国大会のご案内

担当者： 全国大会委員会

全国大会開催 50 回にあたる 2025 年度全国大会の開催日と開催場所の予定が決まりました。

<https://taikai2025.jsise.org/>

開催日（予定）： 2025 年 8 月 30 日（土）～ 9 月 1 日（月）

開催場所（予定）： 早稲田大学（早稲田キャンパス）

<https://www.waseda.jp/>

ぜひご参加をご検討ください。大会の詳細は随時 Web サイト等でご案内いたします。

■ 会場外観



写真提供：早稲田大学

■ アクセス

<https://www.waseda.jp/top/access/waseda-campus>



「ラーニングイノベーショングランプリ 2024」審査結果発表

産学連携委員会 委員長 長谷川 忍

JSiSE が共催しているラーニングイノベーショングランプリ 2024 (LIGP2024) について、二次審査 (最終審査) がおこなわれ、7月1日に受賞結果が発表されました。審査結果は、以下の通りとなりました。

■最優秀ラーニングイノベーション賞 (ジンジャーアップ賞)

・ハイブリッド講義受講者間のコミュニケーションを促す遠隔操作ロボットの検証
電気通信大学 柏原研究室 eDX チーム

■優秀ラーニングイノベーション賞

・非漢字圏学習者向け六書による AR イメージ漢字学習 UX デザイン
共立女子大学大学院 谷田貝研究室 AR 漢字学習班

・医学系対訳コーパスを使用した英語学習 Web アプリケーション - 学習者のスキル向上を指向した機能拡張 -
静岡大学 静岡大学情報学部 宮崎研・チーム医学英語学習支援

■奨励賞

・動画生成 AI を用いたスキル習得支援法
香川大学 後藤田研究室

・対話型言語モデルを用いたピア・エージェント・チュータリングによるフローチャート学習環境
北陸先端科学技術大学院大学 長谷川研究室_プログラミング学習支援 G

■特別賞：EduDX 賞 (提供：株式会社イーラーニング)

・「データ駆動型探究活動」に導く統計分析 Web アプリケーションの開発
大分県立大分舞鶴高等学校 Dit-Lab.

■特別賞：サイコム フロンティアテクノロジー賞 (提供：サイコム・ブレインズ株式会社)

・動画生成 AI を用いたスキル習得支援法
香川大学 後藤田研究室

■特別賞：UMU ラーニングテクノロジー賞 (提供：ユームテクノロジージャパン株式会社)

・学びの振り返りのテキストデータを用いたコンピテンシー・リフレクションシステムの開発
東京学芸大学 森本研究室

3月21日に応募受付を開始し、5月15日の締切りまでに32件の応募がありました。これらについて、産業界の9名の審査委員が審査をおこない、各賞を選定しています。二次審査は、プレゼンテーション動画(5分以内、プレゼン形式)による発表でおこなわれました。審査は、【1】産業界から見た独創性・斬新性と【2】社会的価値(a:教育・学習に与えるインパクト, b:発想スケールの大きさ, c:実用化された際の波及効果)の2つの観点からおこなわれ、審査結果に基づいた得点集計により7月1日に各賞が発表されました。その後、7月17日、東京国際フォーラムにおいて受賞者プレゼンテーション・表彰式が実施されました。

ラーニングイノベーショングランプリは、学術界での学習・教育におけるラーニングテクノロジーに関する研究成果やその芽生え期の研究を産業界が評価する、年に一度のコンペティションです。大学等の研究は、普段アカデミックな評価を受ける機会が多いのですが、本イベントでは産業界も普段目を向けていないような研究や、産業界から見て価値のある潜在的な研究も評価されます。応募対象は、高等教育機関(大学・大学院・高等専門学校等)の研究室(チーム)です。来年も開催いたしますので、皆さま奮ってご応募ください。

本グランプリの詳細及び各受賞者の応募内容は、<https://ligp.gingerapp.co.jp> をご覧ください。

【開催概要】

主催：一般社団法人ラーニングイノベーションコンソシアム(LIC)

共催：教育システム情報学会(JSiSE)、特定非営利活動法人デジタルラーニング・コンソーシアム(DLC)

協賛：日本情報科教育学会、日本教育工学会、人工知能学会、情報処理学会 CLE 研究会、電子情報通信学会教育工学研究会、学習分析学会

協力：ジンジャーアップ(公式サイト)

運営：ラーニングイノベーショングランプリ実行委員会

プラチナスポンサー：ジンジャーアップ

ネーミングライツスポンサー：イーラーニング、サイコム・ブレインズ、UMU テクノロジーズジャパン

【審査委員等】

■審査委員

綾部 貴淑 : LIC/KIYO ラーニング株式会社 ※審査委員長

加藤 憲治 : LIC/デジタルラーニング・コンソーシアム

鎌田 純子 : 株式会社ボージャー

中嶋 竜一 : 株式会社デジタル・ナレッジ

長瀬 昭彦 : 株式会社 WARK

萩原 泰之 : 株式会社セントジェームズアソシエイト

橋本 賢一 : 株式会社富士通ラーニングメディア

花木 喜英 : サイコム・ブレインズ株式会社

星 聡子 : トレノケート株式会社

■実行委員

- 川口 泰司 : LIC/株式会社ネットラーニングホールディングス ※実行委員長
青木 泰子 : LIC/株式会社イーラーニング
加藤 憲治 : LIC/デジタルラーニング・コンソーシアム
前田 宏 : LIC/株式会社ジンジャーアップ
長谷川 忍 : JSiSE/北陸先端科学技術大学院大学
米谷 雄介 : JSiSE/香川大学
平 治彦 : JSiSE/日本データパシフィック株式会社



2024 年度 第 2 回研究会 開催報告

担当者： 不破 泰（信州大），小松川 浩（公立千歳科学技術大），布施 泉（北海道大），
野崎 浩成（愛知教育大），金子 大輔（北星学園大）

2024 年度第 2 回研究会は、「ICT を活用した学習支援と教育の質保証／一般」のテーマで、札幌市社会福祉総合センターにて、7 月 21 日（日）に開催されました。

最初に、小松川 浩 会長にご挨拶を頂き、午前中に 2 セッション、午後に 4 セッション、全部で、19 件の研究発表がありました。さらに、昼食後の時間帯に、「50 周年記念事業 賛助会員セッション」として、複数の賛助会員からの情報提供、意見交換等を行いました。

59 名の参加者を迎え、発表後には活発な質疑がなされました。発表時間は 17 分間、質疑は 7 分間でしたが、質疑の時間が足りない場合が多く、セッション終了後に、改めて、発表者と参加者が活発な議論をされている様子が多くみられました。研究会終了後に開催された情報交換会にも、30 名の皆さんにご参加いただき、北海道の美味しい食事を頂きながら、有意義な意見交換を行うことができました。

ニューズレターの紙面の都合上、19 件、すべての研究発表のタイトルや発表者名などを掲載することができませんが、第 2 回研究会のプログラム、研究のタイトル、発表者の氏名などの詳細は、本学会の Web サイト第 2 研究会 https://www.jsise.org/research_society/2024_cfp_2nd/ をご参照下さい。

最後になりましたが、研究会の優秀論文賞候補者を選定するにあたり、審査委員をお願いした先生方には、多大なるご協力を頂きました。この場を借りて、お礼申し上げます。





学生研究発表会発表募集（第1報）

人材育成委員会

今年度も学生研究発表会を開催する予定です。開催方式を含め、スケジュールの最新情報ならびに申込み方法は、今後、学会ウェブページにて更新していきます。皆様の積極的な参加・発表をお待ちしております。全国大会との連携企画も検討しております。

申込み期限は1月下旬、発表原稿提出は2月はじめを予定しております。



「博士論文紹介」の原稿募集について

担当者： 学会誌編集委員会委員長 松浦 健二（徳島大学）

学会誌のコミュニティ・プラザ「博士論文紹介」は2021年より、各巻のNo. 3（7月1日発行）に集約をし、博士論文の紹介を総覧できる形式へ移行しました。複数の博士号取得者を一同に紹介することで「博士号取得者の研究テーマの動向を読者の皆様が一目で把握できる」「博士取得者同士が互いを知る機会として、交流を深めるきっかけとなる」などのメリットがうまれることを期待しております。

年1回に集約したことにより、寄稿依頼を年度末前後の3～4月頃とし、本誌や学会のニュース・レターなどを通じて、募集をいたします。お近くに博士号取得者や、今後学会誌掲載時に博士号取得予定者がいらっしゃいましたら、ご本人または、指導教員の立場によらず、以下の教育システム情報学会誌編集委員会担当委員のメールアドレスまで、お気軽に情報提供いただけますと幸いです。

2025年7月1日発行予定となります学会誌Vol. 42, No. 3につきましては、【2025年4月18日(金)】を原稿締切の予定とし、募集を行ってまいります。

執筆に際しては、博士論文紹介原稿用の執筆要領&原稿テンプレートをご利用ください。原稿および必要事項の提出に関してはGoogleフォームを用いて行うようにいたします。下記URLよりご利用ください。

スケジュール

原稿締切： 2025年4月18日(金)（予定）

学会誌掲載： 学会誌Vol. 42, No. 3, 2025年7月1日発行（予定）

執筆要領および原稿提出

執筆要領&原稿テンプレート：

https://docs.google.com/uc?export=download&id=1ncrIREcS_hf_2cjlcPhuI0GZV1ag47aF

原稿提出（Googleフォーム）：

<https://forms.gle/s6apsfhhxetLsvRJ9>

問い合わせ等

問い合わせ先： 教育システム情報学会誌編集委員会 担当委員 山元 翔（近畿大学）

E-mail: yamamoto@info.kindai.ac.jp

（「@」の部分は、半角の「@」に変えて下さい）



2026 年度発刊 特集号論文募集

担当者： 学会誌編集委員会委員長 松浦 健二（徳島大学）

特集号「高度な対話による先進的な教育・学習システム」

論文投稿締切：2025 年 6 月 1 日（日）（予定）

2026 年 4 月 1 日 発行（予定）

大規模言語モデルに代表される生成 AI は、自然言語を介した対話型の AI システムとして急速に発展しており、あらゆる分野、領域に対して、きわめて大きく不可逆的なインパクトを与えつつあります。もとより教育システム情報学分野においては、CAI や ITS における対話システムをはじめとして、「人と機械の対話」あるいは「機械による対話の促進」などの観点による教育・学習システムは深い関心を集めてきたテーマであるといえます。一方で、教育・学習という営みにおいて、学習者と教授者、学習者同士などによるさまざまな形での対話は、授業設計、学習支援、その他さまざまな教育・学習のデザインにおいて、教育・学習の効果を高めるための重要な要素として扱われ、これに関するさまざまな研究や実践的知見が蓄積されてきたものと思われま

す。これらをふまえ、本特集号では、教育・学習場における「高度な対話」をできる限り広く捉え、対話型生成 AI の教育・学習への先進的な活用・実践をはじめ、対話に基づく協調的な学習に関連する教育・学習システムや学習環境の構築あるいはその教育実践、または仮想空間上での対話的教育・学習などに至るまで、高度な対話に基づく教育・学習システムの発展にまつわる論文を幅広く募集します。

1. 対象分野

対話型生成 AI の教育・学習への先進的な活用・実践、対話に基づく協調的な学習に関連する教育・学習システムや学習環境の構築あるいはその教育実践、仮想空間上での対話的教育・学習、その他さまざまな観点において、高度な対話に基づく教育・学習システムの発展にまつわる論文を幅広く募集します。

2. 論文種別

すべての種別（一般論文、実践論文、ショートノート、実践速報）の論文を募集いたします。なお、査読を通して、異なる種別での採録となる場合があります。また、内容により一般号掲載論文へ変更する場合があります。

3. 投稿要領

教育システム情報学会学会誌原稿執筆要領に準じます。詳細は教育システム情報学会の Web サイト上の「学会誌投稿のご案内」でご確認ください。投稿に際しては「特集号」であることを明示していただ

きます。また、特集論文研究会（2025年3月中旬開催予定）で発表を行った方は、特集論文研究会での発表題目と発表番号も明示いただく予定としております。

4. スケジュール

論文投稿締切： 2025年6月1日（日）【予定】

採録通知予定： 2025年12月初旬まで【予定】

学会誌 掲載： 学会誌 Vol. 43, No. 2, 2026年4月1日発行【予定】

本特集号と同一テーマの研究会「特集論文研究会」を開催します。是非、ご発表・ご参加ください。詳細は、今後の最新の開催案内（https://www.jsise.org/society_research/）をご覧ください。

5. 特集号編集委員会

委員長： 松浦 健二（徳島大学）

副委員長： 後藤田 中（香川大学）

筆頭幹事： 高木 正則（電気通信大学）

幹事： 近藤 伸彦（東京都立大学），山元 翔（近畿大学），
林 佑樹（大阪公立大学），白澤 秀剛（東海大学）

幹事補佐： 吉原 和明（近畿大学），油谷 知岐（香川大学）

委員： 学会誌編集委員

6. 問い合わせ

全般： 近藤 伸彦（東京都立大学） E-mail: kondo@tmu.ac.jp



Information and Technology in Education and Learning (ITEL)

論文募集 [<https://www.j-itel.org>]

日本教育工学会 (JSET) との合同英文誌 ITEL (Information and Technology in Education and Learning, <https://www.j-itel.org>) への掲載原稿を募集しています。この ITEL では、我が国における教育工学・教育システム情報学の国際的な発信力を強化するとともに、国際的な共同研究・研究交流のプラットフォームになることを目指しています。研究対象は、教育システム情報に関連した領域全般はもちろん、様々な教授学習場面のための方法・技術に関する基礎研究・開発研究・実践研究等も含まれます。ITEL は、J-STAGE をプラットフォームとしたオープンアクセスジャーナルです (<https://www.jstage.jst.go.jp/browse/itel/list/-char/ja>)。投稿後、原則、7 か月以内に 2 回の査読が終了するように配慮しています。短期間で、革新的な研究成果、ユニークな実践等を世界に向けて発信するために活用していただければ幸いです。学位取得を目指されている方や留学生のみなさんからのご投稿もお待ちしております。

- 論文種別： 一般論文 (Regular Paper, 基本 8 ページ) ,
実践論文 (Practice Paper, 基本 8 ページ) ,
システム開発論文 (Development Paper, 基本 8 ページ) ,
ショート論文 (Short Paper, 基本 4 ページで最長 6 ページまで)
<これまでのショートノート (Short Note) と実践速報 (Report on Practice) を含みます>
- 投稿締切：1 年中投稿を受け付けています。
- 投稿要件：
 - ・論文は他学会において査読中でないこと、そして、その主要部分が未発表であること。ただし、国際会議、学会の大会、研究会等で口頭発表した内容をまとめたものは投稿することができます。
 - ・投稿者は本会会員である必要はありませんが、本会会員あるいは JSET 会員である場合には掲載料に会員の価格が適用されます。投稿者が 2 名以上の連名の場合は、そのうち少なくとも 1 名が会員であれば、掲載料に会員価格が適用されます。
- 原稿執筆要領：ITEL Web サイトに、執筆要領 (Author Guidelines) 等がアップされています。
- 投稿方法：< [ITEL 電子投稿システム] https://iap-jp.org/j-itel/journal_e/ >
 - ・ITEL Web サイト上から、電子投稿システムにログインして投稿を行って下さい。
 - ・初めて電子投稿システムを利用する場合は、まず利用者用 ID の発行手続きを行って下さい。
 - ・投稿論文は、論文執筆用テンプレートファイルを用いて PDF ファイルに出力して提出して下さい。
 - ・投稿論文は、投稿前にできるだけ英文校正 (Proofreading) を受け、証明書提出を推奨しています。
- 査読方法：
 - ・投稿論文の査読は、JSiSE 英文誌と同様に、シングルブラインド制で行われます。
 - ・査読者は 2 名で、査読回数は 2 回となります (著者照会は 1 回のみ)。

- 評価項目は、Originality（新規性）、Usefulness（有用性）、Reliability（信頼性）、Presentation（明瞭性）の4項目となり、JSiSE 英文誌と異なり、査読中に投稿論文の種別変更はありません。
- 投稿者の希望に基づき、JSiSE 英文誌と同様、日本語で査読コメントを受けることもできます。

最新号目次

Information and Technology in Education and Learning (ITEL) Vol.4, No.1 2024

<https://www.jstage.jst.go.jp/browse/itel/>

Short Paper	The Effectiveness of Situational Confirmation in Remote Verbal Communication Kaito Takashima, Yuki Yamada
Translation	The Effect of Proactive Behavior on Competence Improvement in a Workplace through Reflection: A Focus on Young Workers in the 20s Satoshi Tanaka, Megumi Ikeda, Ryohei Ikejiri, Tomoyuki Suzuki, Kaede Kido, Yusuke Tsuchiya, Ryo Imai, Yuhei Yamauchi
	The Relationship between Children's Listening Ability, Its Influencing Factors, and the Children's Academic Ability in Science Takeshi Miyauchi, Chiharu Kogo
	Qualitative Study on the Promotion of Experiential Learning and Reflective Support Intended for Mid-level Employees by Managers Who Balance Organizational Performance with Employee Development Chiaki Hiromatsu, Shigeto Ozawa

(2024年9月26日現在の情報です。準備ができたものから公開していきます。)



第6回リサーチ・コ・コ・コモンズ開催のお知らせ

担当者： 教育システム情報学会 関東支部

昨年度に引き続き、関東支部主催にて連携（collaboration）による新たな学びの共創（co-creation）を実現するためのイベント「リサーチ・コ・コ・コモンズ」を開催いたします。今年度も学生の皆さまに自身の研究の魅力を再発見していただくための企画です。

学外の研究者・学生との議論を通じて、自分でも気付いていなかった研究の魅力を再発見して、あなたの研究をもっと伸ばしてみませんか？

開催日時：12月7日（土）11:00～18:00（予定）

場所：千葉工業大学（予定）

対象：他大学の方々との交流を通じて自身の研究を見つめ直したい学生

※ 関東・東北地区以外の学生の方の参加も大歓迎です。

参加費：無料

<プログラム>

第1部：ベテラン研究者からの熱いメッセージ

基調講演：松居辰則先生（早稲田大学）

第2部：魅力 Aware / Share / Deeper セッション

研究紹介

自身の研究の魅力を参加者に伝えよう

伝え方は自由（PowerPoint・ポスター・口頭のみ）中間発表などで使ったものを流用してもOK！

参加者とのディスカッション

学外の研究者・学生との建設的な議論を通じて、自分でも気付いていなかった研究の魅力を再発見しよう

発表をご希望の方は11/15(金)まで、聴講をご希望の方は11/30(土)までに下記URLよりご登録下さい。

発表をご希望の方：<https://bit.ly/rcococo2024>

聴講をご希望の方：<https://bit.ly/rcococo2024-audit>

関東支部 Web サイト：<https://kanto.jsise.org/>



第 20 回情報教育合同研究会開催案内（第 1 報）

担当者： 教育システム情報学会 関西支部

本合同研究会は情報教育に関する関西での小集団の力強い共催で継続して毎年実施してきた研究会です。一時的には情報科の発展と充実を目指して教科情報に特化したときもありましたが、一貫して小中高大学の情報教育を考える開かれた研究会として一年に一回園田学園女子大学を会場に展開してきました。多くの皆様のおかげで今年は 20 年目を迎えます。「情報の学び」はこれからの新しい情報社会の根幹を支える基礎能力として、また、GIGA スクール構想での新しい教育システムを支える情報活用能力として、これからますます重要になってきます。20 年を機に今一度これまでを振り返り、さらなる情報教育の飛躍のために新しい提案をみんなで考えることができたらと思います。

また、20 年の記念として情報交換会も盛大に実施したいと考えておりますので研究会へのご参加とともに交換会へのご出席もいただけますようご案内いたします。

なお、当日のワークショップや自由企画の開催にも奮ってご応募いただきますようお願いいたします。

記

1. テーマ 「合同研究会の 20 年を踏みしめて、未来を拓く情報教育へのメッセージ」
2. 日時 令和 6(2024)年 11 月 23 日(土) 10:00~17:30(予定)
3. 会場 園田学園女子大学 樺和館(4号館)・情報教育センター(5号館)
4. 共催

情報コミュニケーション学会情報教育特別委員会

教育システム情報学会関西支部

日本情報科教育学会近畿・北陸支部

兵庫県高等学校教育研究会情報部会

大阪府高等学校情報教育研究会

情報教育学研究会(IEC)

氷上情報教育研究会

Logo に学ぶ会 Neo5.

5. 後援(予定) 兵庫県教育委員会 尼崎市教育委員会 園田学園女子大学
6. 日程(予定)

午前の部

10:00~12:00

【ワークショップ】

* (共催団体会員からの企画を公募します)

【自由企画】

* (共催団体からの企画を公募します)

12：30～【受付】

午後の部

13：00～17：30

【全体会】

1部＜対談＞「合同研究会の20年を踏みしめて、未来を拓く情報教育へのメッセージ」
本研究会20年を通じてお世話になった、元高等学校情報科教科調査官の先生方にご対談
をいただき、熱く語っていただきます。

ICT 企業展示コラボレーション・コミュニケーションタイム

2部＜GIGAの世界を覗く＞「GIGAでこんな教育活動をしています」
小学校・中学校・高等学校から現場の状況をお話しいたします。

休憩

3部＜未来を拓く情報教育へのメッセージ＞

情報教育やGIGAスクール構想の現状等の最新情報を現高等学校情報科教科調査官の先
生から情報提供をいただきます。さらに、共催団体の研究者の視点から、これからの情報
社会の根幹を支える基礎能力、情報学という学問確立の必要性、大学における教員養成課
程の問題、情報活用能力の再考など、未来を拓く情報教育へのメッセージを頂戴します。

閉会行事

閉会后 合同研究会20周年記念情報交換会

7. 参加費 無料(共催・後援団体会員以外、資料代 500 円)
8. 合同研究会 20 周年記念情報交換会 参加費 4000 円(予定) (CIS20 周年記念行事)
9. 参加申込 10 月中旬頃配布予定の開催案内(第2報)に申込の詳細を掲載します
(続報については、関西支部ウェブページにてご確認ください)



研究会報告年間購読の申し込みについて

研究会報告は、2016年度からは印刷媒体での研究会報告は廃止し、オンライン上でタイムリーかつオンデマンドな閲覧が可能となるように、研究会報告を電子化しています。保管などの手間もなく、大変便利に活用できるようになっております。

是非、研究会報告の「年間購読」のお申し込みをご検討いただければ幸いです。研究会当日も電子媒体として販売する予定ですが、年間購読がお得になっております。

- ・年間購読:4,000円（定例研究会年6回，特集研究会1回，計7回分を含む）
- ・当日販売:1冊1,000円

新規での「年間購読」申し込みにつきましては、年会費をお支払いいただく前に会員種別変更申込をお願いします。以下の手順でお申し込みください。すでに年間購読をしていた方は手続き不要です。

- 1) 年会費納入手続きの前に、下記フォームにて事務局 (secretariat@jsise.org) まで年間購読申込をしてください。

=====

※研究会報告年間購読希望

会員番号（お分かりであれば）：

お名前：

所属：

連絡先 e メールアドレス：

=====

- 2) 手続き終了後、事務局より会員種別変更完了のご連絡を差し上げます。
- 3) マイページから年会費と合わせて年間購読費をお支払いください。

※年会費納入後に「年間購読」を申込みご希望の場合は、事務局 (secretariat@jsise.org) までご連絡ください。年間購読の請求書をお送りし、会員種別変更の手続きを進めさせていただきます。



JSiSE の過年度刊行物の【半額】での販売について

教育システム情報学会では、2024年41巻1号以前に発行された過年度刊行物の在庫を整理することになりました。これに伴い、現時点で在庫があるものについては定価の【半額】でお譲りいたします。ただし送料は購入者様にてご負担をお願いいたします。

本会が公式に販売する最後の機会です。ぜひ購入をご検討ください。

対象となる刊行物および販売価格は次の通りです。なお、販売開始時点で在庫がないものもごさいます。ご注文いただいた順に手続きをいたします。万が一在庫切れの際にはご容赦くださいますようお願いいたします。

1. 【紙媒体】教育システム情報学会誌 1冊あたり定価 3,300円→1,650円（税込）1995年12巻1号から2024年41巻1号
2. 【紙媒体】The Journal of Information and Systems in Education（英文誌）1冊あたり定価 3,300円→1,650円（税込）2002年1巻1号から2010年11巻1号
3. 【紙媒体】教育システム情報学会 研究報告 1冊あたり定価 1,100円→550円（税込）1996年度第2回から2015年度第7回
4. 【CD-ROM】教育システム情報学会 研究報告 1枚あたり定価 1,100円→550円（税込）2017年度第1回から2019年度第5回
5. 【紙媒体】教育システム情報学会全国大会講演論文集 1冊あたり定価 6,600円→3,300円（税込）2003年度第28回、2005年度第30回

ご注文は以下のURLよりお願いいたします。

<https://forms.gle/i9tpbn3EiMNWJP8W6>

お問い合わせは、刊行物の販売・管理委託先である毎日学術フォーラム(maf-sales***navi.jp)までお願いいたします。メール送信時には***をアットマークに置き換えてください。

販売に直接関係しないその他のお問い合わせは、学会事務局までお願いいたします。

広報からのお知らせ



ニューズレター発行回数変更のお知らせ

2024年度より、ニューズレターの発行は年4回となります。研究会の開催時期と異なるため、今後は、年間スケジュールおよび開催報告のみの掲載となります。開催案内と講演募集につきましては、学会 Web サイトでご確認ください。



X (Twitter) アカウントの紹介

2016年8月下旬より、全国大会開催に合わせて学会の公式 X (Twitter) アカウントを開設しました。本アカウントは原則として当学会の広報を目的とした配信専用としております。本学会へのご質問・お問い合わせは、学会事務局 (secretariat@jsise.org) へお願いします。

<https://twitter.com/JsisePr>

◇ 2024年9月28日現在、フォロワー数 290 アカウント



Facebook ページもご覧ください

教育システム情報学会の公式 Facebook ページを運用しています。本ページでは、論文・発表募集や本学会に関連するイベントの情報などをお届けしています。ぜひ、ご覧下さい。

Facebook ユーザの方は、ぜひ、「いいね」をお願いいたします。

<https://www.facebook.com/jsise.org/>

◇ 2024年9月28日現在、いいね 625 件、679 人フォロー

X (Twitter)、Facebook への情報掲載の依頼などは学会事務局 (secretariat@jsise.org) までお問い合わせください。



他団体 協賛・後援イベントのお知らせ

後援：「令和6年度日本情報オリンピック」

日時：2024年7月～2025年3月

会場：オンライン開催

後援：「第35回全国高等専門学校プログラミングコンテスト」

日時：2024年10月19日（土）～20日（日） 本選

会場：なら100年会館

協賛：「高校教科「情報」シンポジウム2024秋（ジョーシン2024秋）」

日時：2024年10月27日（日）10:30 - 16:00

会場：東京通信大学 新宿駅前キャンパス（総合校舎コクーンタワー）Bホール

共催：「第19回医療系 e ラーニング全国交流会」

日時：2024年12月21日（土）～12月22日（日）

会場：愛知医療学院大学とオンラインによるハイブリッド開催



国際会議のご案内

- 2024 年 11 月開催

ICCE 2024: The 32nd International Conference on Computers in Education

開催期間 : November 25-29, 2024

開催地 : MANILA, PHILIPPINES

URL: <https://icce2024.ateneo.edu/>

- 2025 年 4 月開催

ICIET:2025 13th International Conference on Information and Education Technology

開催期間 : April 18-20, 2025

開催地 : Fukuyama, Japan

URL: <https://www.iciet.org/index.html>



会費納入のお願い

学会の運営は皆様の年会費で支えられております。今年度の年会費が未納の方はご入金をお願いいたします。なお、10月以降に年会費が未納の場合、学会誌の送付が一時休止されます。入金確認後、入金日の翌月末までに今年度内の未送付分も合わせて学会誌の送付を再開いたします。3月末までに入金を確認できない場合は、未送付分の学会誌はお送りできなくなりますので、お早めにお手続きをお願いいたします。

URL <https://bunken.org/jsise/mypage/Login>

※会員専用ページのURLは、会員情報管理システムの業務委託をしている株式会社国際文献社のものです。

- 「銀行振込」をご希望の方は、下記のいずれかの口座へお振込みをお願いいたします。

■振込先

◆ゆうちょ銀行

口座記号番号：00180-6-709632

加入者名：一般社団法人教育システム情報学会

フリガナ：シャ)キョウイクシステムジョウホウガックイ

※他金融機関からゆうちょ銀行に振込む場合

銀行名：ゆうちょ銀行（金融機関コード：9900）

店名：〇一九 店（ゼロイチキユウ店） 預金種別：当座 口座番号：0709632

名義：一般社団法人教育システム情報学会

フリガナ：シャ)キョウイクシステムジョウホウガックイ

◆三菱UFJ銀行（金融機関コード：0005）

店名：上新庄支店（カミシンジョウ支店）

預金種別：普通 口座番号：0142708

名義：一般社団法人教育システム情報学会

フリガナ：シャ)キョウイクシステムジョウホウガックイ

◆みずほ銀行（金融機関コード：0001）

店名：茨木 支店（イバラキ支店）

預金種別：普通 口座番号：1399483

名義：一般社団法人教育システム情報学会

フリガナ：シャ)キョウイクシステムジョウホウガックイ

- 請求書・領収書（支払い後）は、マイページでオンライン発行できます。
- 請求書・領収書の郵送をご希望の方は、事務局（secretariat@jsise.org）までご連絡ください。

※団体名でお振込みいただきますと、個人を特定できない場合がございますので、振込名に会員番号またはお名前をご入力いただくか、難しい場合は、振込内容を事務局までご連絡いただければ幸いです。
※所属が変わった方は、マイページにログインした際に、連絡先などを変更するようお願いいたします。

【過年度年会費を支払われていない方へ】

マイページでは、全ての年度の未納金額を合算した金額が請求されます。先に本年度以前の分のお支払いを希望される方は、先に郵送された払込用紙付請求書をご利用になるか、学会事務局（secretariat@jsise.org）までご連絡下さい。

※会費のお支払いが確認できない場合、学会からの送付物を停止させていただく場合があります。また、会員資格停止の手続きを進めさせていただく場合があります。

ご不明な点は、事務局（secretariat@jsise.org）までお問合せ下さい。

〒162-0801 東京都新宿区山吹町 358-5 アカデミーセンター
Tel:03-6824-9376 Fax:03-5227-8631 Email : secretariat@jsise.org



事務局より



会員専用ページのご案内

URL : <https://bunken.org/jsise/mypage/Login>

※会員専用ページの URL は、会員情報管理システムの業務委託をしております株式会社国際文献社のものです。

■会員専用ページでは、以下のことができます。

1. 会員個人ページでの、現在の登録情報の確認・変更
2. 年会費納入状況の確認
3. 会費の納入、クレジット/コンビニ決済
4. パスワードの変更

会員種別、フリガナ、研究報告年間購読の登録等はマイページでは変更できませんので、お手数ですが JSiSE 事務局会員窓口 (secretariat@jsise.org) までご連絡をお願い致します。

ログインには、ID とパスワードが必要です。

パスワードをお忘れになった場合は、上記ウェブサイトにて照会できます。何かご不明な点がございましたら、JSiSE 事務局会員窓口 (secretariat@jsise.org) までご連絡ください。

今後とも教育システム情報学会の活動にご理解ご協力のほど、何卒よろしくお願い申し上げます。



入会のご案内

入会をご希望の方は、下記のサイトよりオンライン入会申込フォームにアクセスしていただき、お申し込みをお願いいたします。

URL : <http://www.jsise.org/admission/index.html>

☆キャンペーン☆

※現在、本学会開催の研究会等で、会場にて新規お申し込みいただいた方には、**入会金を無料にさせて頂くというキャンペーン**を行っております。
そちらも、合わせてご案内いただきますようお願いいたします。



新入会員のご紹介

下記の19名の皆様が新しく入会されました。(2024年6月21日～2024年9月25日)

本学会での益々のご活躍を期待しております！

会員名	会員種別	会員名	会員種別
小林 高大	学生会員	曾根 直人	正会員(購読)
梅澤 克之	正会員	後藤 照佳	学生会員
神田 孝央	正会員	有賀 弘晃	学生会員
西島 凌士	学生会員	飯泉 正人	正会員
佐々木 奏	学生会員	田中 凌太	学生会員
石嶋 康史	正会員	佐田 竣祐	学生会員
鄭 祚明	正会員	Pierret Robles Jean Paul	学生会員
渡邊 弘大	学生会員	西沢 直樹	正会員
米田 龍大	正会員	田川 翔	正会員
久保 富子	正会員(初中等購読)		